

## 2019年度 埼玉県ハンドボール協会審判部報告

審判長 宮澤 則夫

## A・B級審判員の確保

これまで審判の質を高く評価されてきた本県ですが、上級審判員が不足している現状にあります。現在県内の審判員は 265 名で内訳は以下の表の通りです。近年、全国大会、ブロック大会へのエントリーも減少しており、A・B級審判員の確保は本協会の急務です。

	終身	A級	B級	C級	D級	合計
高体連	21	5	12	16	47(+12)	101
中学生委員会	5	0	9	14(+1)	19(+1)	47
小学生連盟	0	0	0	0	14(+1)	14
その他	2	0	1	6	94(+12)	103
合計	28	5	22	36	174(+26)	265

\*その他は社会人・大学生・高校生

()内は昨年度比

最初に、上記に記載されているように審判員の数、特に上級申請を行う審判員がいないことによる弊害が各大会の運営面でみられています。大会の審判員を配置・派遣することにおける負担が一部の審判員に多くかかってしまう現状をふまえて、各カテゴリーでの審判員の確保・育成、そして、それらの審判員による大会の運営が基本的に行えるように努力（申請）していただきたいと考えております

## 1. 上級審査についての変更点

- ・ワッペン色の変更：A級…青色 B級…赤色 C級…緑色 D級…黄色
- ・C級：D級取得後 15 試合以上の吹笛が条件となり、筆記試験が課せられます。
- ・B級：ブロック大会が実技試験の吹笛試合となります。
- ・A級：学連の大会（3 ブロック）が実技試験の吹笛試合となります。

※上級申請には、審判手帳の提出が義務づけられていますので、審判手帳への担当試合の記入と審判講習会受講記録（過去 2 年連続必須）、ならびに押印を確実に行ってください。

2. 判定基準について、これまでもハードプレーとラフプレーについて見極めの重要性を言われ続けてきましたが、今年度の会議においても重点的に取り上げられました。しかし、これまでは体に対するファールに対していかに見逃さずに段階罰をとることができるかというものであったのに対し、今回の内容はハンドボールの醍醐味であるコンタクトプレーを見極め、シュートに影響のないものはどれだけ流せるかといった内容になっています。モダンハンドボールの幹になるかと思われま。この内容については日本協会の競技部（強化部）と審判部の合同会議で強化の観点から定められたとのことです。年度初めに審判講習会を実施しますので、その際に映像でご確認ください。

3. 上記にもあげました年度初めに実施予定の審判講習会ですが、審判員だけでなく TD を担当される方（終身）も是非ご参加願います。近年 TD の任務も複雑多岐にわたっております。また、今後も埼玉県においてブロック大会、全国大会が連続して実施されることもありますので、難しい場面を想定して準備しておく必要があります。

最後になりますが、自分自身の判定に対する真摯な反省と改善を図ることを忘れずに審判にあたっていただくようお願いします。県全体の審判技術のアップと競技レベルのアップとは相互作用するものだと思います。皆さんで更なる埼玉県のレベルアップを目指しましょう。

#### 4. 令和2年度レフェリー講習会のご案内

・関東審判講習会 令和2年3月1日(日) 12:30～都立武蔵高校附属中学校視聴覚室・体育館

(全日本大会担当レフェリー研修会も同日同会場 9:30～)

※A級受験者はこの研修会でシャトルランテストを実施するので必ず参加すること)

※全日本大会担当レフェリーも参加してください。

(参加できない場合は他ブロックの審判研修会に参加することが必須になります。)

#### ・埼玉県で行われる主なハンドボール大会

- |     |                   |                   |
|-----|-------------------|-------------------|
| 4月  | スプリングカップ          | (中学生委員会)          |
|     | 関東大会県予選           | (高体連)             |
|     | 関東クラブ・ジャパンオープン県予選 | (社会人)             |
| 5月  | インターハイ予選          | (高体連)             |
| 6月  | 関東少年少女県予選         | (小学生)             |
| 7月  | 日本選手権埼玉県予選        | (社会人)             |
|     | 学校総合体育大会          | (中学生委員会)          |
| 8月  | 1年生技術研修会          | (高体連)             |
|     | 1年生技術研修会          | (中学生委員会)          |
| 10月 | 新人体育大会            | (中学生委員会)          |
| 11月 | 県民総体兼新人大会         | (高体連)             |
| 1月  | 彩の国カップ            | (小学生)             |
|     | 県総合選手権大会          | (社会人)             |
|     | 春中代表決定戦           | (中学生委員会)          |
|     | ウインターカップ          | (中学生委員会)          |
| 2月  | 中高交流ハンドボールフェスティバル | (県協会(中学生委員会・高体連)) |

日程は2019年度のものより参照

各カテゴリーの審判長は、大会日程に照らし合わせて必要な審判員への声掛けを協会と各カテゴリーと協力して行い、審判員の確保を行ってください。

尚、大会の審判割りには、原則各カテゴリーの審判長でお願いします。

上記以外の大会でも関東学生リーグや各カテゴリー大会の地区大会や支部大会が行われています。積極的にレフェリングの研鑽を行っていただき、上級申請をしていただければと思います。

【\*埼玉県内の大学会場で行われる学生リーグ(男子3部以降・女子2部)については、関東学生連盟と情報を共有して随時発信できたらと考えておりますので奮って吹笛するようにしてください。】